

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 スタジオそら武蔵野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	大部屋、小部屋と2つの訓練室を活用しスペースを確保している。	安全面にも配慮し、活動スペースを確保していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2	児童発達管理責任者、児童指導員、保育士、言語聴覚士がそれぞれ適切に配置されている。	役割を明確にしていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	視覚化・構造化に取り組んでいる。	出入口が狭い為、必要に応じてスタッフが安全管理や補助を行う。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	視覚化・構造化に取り組んでいる。	跳び箱等の裏に埃がたまりやすい為、こまめに清掃を実施する。
適切な支援の内容	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	6	0	日々打ち合わせやミーティングを実施し、職員一人一人の目標を設定している。	スタッフ同士で評価しあい、定期的に達成度を確認していく。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	日々の療育実施前後にもお話を伺い、ご家庭のニーズの把握に努めている。	今後も継続していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	事業所内にて掲示を実施している。	会報での公開又はWAMネット導入と公表について検討中である。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	第三者評価は実施していない。	実施することを目標とする。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	社内研修を実施している。	スタッフ間で逐一確認しあい、認識に齟齬が生まれない様留意する。
業務改善	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	スクリーニングテストを用いたアセスメントを実施し、それに基づいた個別支援計画を作成している。	スタッフ全員が同じように計測出来るよう、経験を積んでいく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	ASQスクリーニングテスト用紙を使用している。	引き続き有効に活用し、適切な把握を目指して行く。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	本人支援を主にしながら、兄弟も参加出来るイベントを実施している。	地域交流など、参加の機会を増やしていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	日々打ち合わせで確認しながら行っている。	引き続き充実を図っていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	日々打ち合わせで確認しながら行っている。	引き続き充実を図っていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	お子様が常に新鮮さや楽しさを味わえるよう配慮している。	引き続き充実を図っていく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6	0	常にお子様一人ひとりの段階やニーズに合わせた活動計画を作成している。	引き続き充実を図っていく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	毎日1時間程、プログラムについての打ち合わせを行い、全員で確認を行っている。	引き続き充実を図っていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼にて様子・変化を確認している。	引き続き充実を図っていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	SOAPノートを活用している。	記載の仕方にずれが生じない様、定期的に確認しながら実施する。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	定期的実施している。	引き続き漏れがない様実施していく。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	管理者・児発管が出席している。	事業所内での共有も含め、より適切に実施していく。
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	必要に応じて子ども家庭支援センター等と連携して支援を実施している。	より密な連携を図っていく。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	4	重症心身障害児の受入は現在行っていない。医療的対応が必要な児については、保護者同伴での療育を実施している。	必要に応じた連携を図っていく。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5	重症心身障害児の受入は現在行っていない。医療的対応が必要な児については、保護者同伴での療育を実施している。	必要に応じた連携を図っていく。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	要請があれば保育園への見学・意見交換を行っている。	必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	保護者を通じて行っている。	必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	管理者・児発管が協議会へ参加している際に意見交換を行っている。	必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	兄弟関係の子も一緒に参加出来るイベントを実施している。	今後より交流を図ることが出来る機会を検討していく。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5	管理者・児発管が参加している。	必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	毎日フィードバックの機会を作っている。	送り迎えをヘルパーさんがしているご家庭等について、より密な共有を目指す。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	助言のみ。	ペアレントトレーニングについての学習の機会を設定していく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時、また必要に応じて随時説明を行っている。	引き続き丁寧な説明を実施していく。
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	面談を随時行い説明している。	引き続き丁寧な説明を実施していく。
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	随時フィードバックにて行っている。	スタッフ間で研修や話し合いを実施し、より統一された支援の提供を目指す。
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	年度開始時に一度のみ実施した。	今後ニーズがあれば開催を検討していく。
	㉞	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	すぐにスタッフ間で共有し話し合い対策を練っている。	引き続き適切な対応を実施していく。
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	HPIにてそら通信の更新を行っている。	毎月の請求送付物にそら通信のお知らせを同封している。職員もHPの更新記事をチェックし、内容の把握を行なう。
	㊱	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	鍵付きの書庫で厳重に保管している。	引き続き慎重に取り扱いしていく。
	㊲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	共有の書類を作成している。	随時確認しあい、引き続き綿密に共有を図っていく。
	㊳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	兄弟関係の子も一緒に参加出来るイベントを実施している。	より地域に開いた行事の展開について、検討していく。

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている。	内容について保護者に周知し、訓練への参加を呼び掛けていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている。	内容について保護者に周知し、訓練への参加を呼び掛けていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	事前に共有している。	引き続き細やかに共有を行っていく。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	食物を扱うイベント実施の際は、事前に保護者に確認を取っている。	引き続き、細心の注意を払っていく。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	日々終礼で確認を行っている。	定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	研修を実施している。	定期的に事例検討などの研修を行い、虐待防止を徹底していく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっている。	定期的に事例検討などの研修を行い、適切に対応できるよう努めていく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。